



2009. October 10月号
 発行日：平成21年10月1日
 発行：東京税理士会
 情報システム委員会
 題字：金井塚 清（豊島）

前評判上々の「Windows7」を覗く

Windows7 Windows7は10月22日発売

パソコン（以下「PC」）はOS（オーエス）という基本ソフトが必要で、Windowsという言葉聞いたことがあるはず。Windowsは数年ごとに新しいものが発表され、人によって利用しているバージョンも違うことでしょう。現在多くの方が利用しているのがWindows XP（以下「XP」）とWindows Vista（以下「Vista」）で、平成21年10月22日に新しいWindows 7（以下「Win7」）が一般発売されます。OSが新しくなった当初は、変更されることが多いので、暫く様子見する意見の方も見受けられますが、周辺の情報は新しいものに一変されます。発売されるパソコンもWin7一色になり、乗り換えるにあたっては、周辺の状況等も勘案して各自で判断してください。

Windows 7への乗換

新しいWin7ですが、超短縮して表現すると、Vistaの操作性にXPの軽快さを兼ね備えたOSです。新しくPCを購入する場合、Win7搭載のPCを選択することを推奨します。問題なのは、現在の状態からWin7に乗り換える場合です。現在Vistaを普通に使用している方は、Win7に乗り換えることで使い勝手は確実に向上することでしょう。当然予算との兼ね合いで判断してください。乗換法も同レベル（例えばVista BusinessからWin7 Professional）の場合、アップグレードが可能ですので、比較的簡単に乗り換えることができます。Win7のUltimateへほどのエディションからでもアップグレード可能ですが、ダウングレードの場合は原則として新規インストールになります。多くの方が利用しているXPからWin7の場合は、全て新規インストールになるので、利用しているソフトの再インストールとか、保存してあるデータの再構築等、日頃やり慣れない操作が必要です。

アップグレード	7 Home Premium	7 Professional	7 Ultimate
Windows XP 全エディション	×	×	×
Vista Home Premium	○	×	○
Vista Business	×	○	○
Vista Ultimate	×	×	○

あなたのパソコンの仕様は？

Win7に興味がある場合、目的のPCがどのような状態なのかを確認してから相談してください。最低限XPなのかVistaなのか、Vistaの場合、Home Premium、Business、Ultimateのいずれかを使用していることでしょう。XPの場合、CPUとかメモリ搭載量も確認してください。XPは比較的長く使われた関係上、本体の仕様に大きな幅があります。XP発売当初の本体と、最近の本体では大きな違いがあります。XPであってもその本体仕様ではWin7に馴染まないことが予想されますので、相談する前にPCの状況を的確に把握して下さい。間違った情報からは、間違った判断になりますので注意してください。

Windows 7のエディション

Win7は今までのOSと違い、比較的スッキリしたエディションになっています。普通に発売されるのは、Home Premium（以下「Home」）、Professional（以下「Pro」）、Ultimate（以下「Ulti」）の三つです。これらは順次上位バージョンになり、上位バージョンは機能が付加されています。普通に発売されるPCにインストールされるのはHomeになるようですが、業務に適しているのはProとUltiになります。Homeでも業務に必要なソフトは作動しますが、セキュリティ等を勘案した場合、これより上位バージョンが望ましいこととなります。残念なことに金額も高くなりますので、総合的に勘案して選択してください。

エディションによる機能の違い

Win7のエディションは、上位バージョンが下位バージョンの全ての機能を含んでいるので、その違いを確認してバージョンを選択してください。

基本的な機能はHomeをベースとし、Pro以上にはドメイン参加、XPモード、ネットワークバックアップ、リモートデスクトップの各機能が付加され、Ultiにはドライブ暗号化、多言語対応の機能がさらに付加されています。

ドメイン参加とXPモード

大規模なネットワークではドメイン参加機能は重要な点ですが、普通の税理士事務所ではワークグループによるネットワークが圧倒的で、必ずしも必須機能ではありません。ノートPCを持ち歩き、大規模ネットワークに接続するような場合には、必要になることも多いことでしょう。

XPモードはWin7で新たに導入された機能で、Win7と互換性のないXP用アプリケーションを実行させる機能です。仮想化機能に対応したCPUやBIOSの確認も必要になるので、比較的新しい仕様のハードウェアが必要になります。

ネットワークバックアップとリモートデスクトップ

単なるファイルのバックアップは全てのエディションで可能ですが、システム全体をバックアップするにあたって、ネットワークドライブを指定できるようになりました。以前はUSBのハードディスク（以下「HDD」）やDVD等のメディアにバックアップ可能でしたが、ネットワーク上のHDD（NASを含む。）や他のPCの共有ドライブにもバックアップ可能です。当然これらから復元することができ、利用しているPCに不具合が生じたときに、速やかに対応できることは有効な危機管理です。

リモートデスクトップ機能は以前からの機能で、ネットワークを通じて他のPCから操作されることが出来る機能です。複数のPCがネットワークで接続されている場合、自分が操作しているPCから別のPCを操作できる機能で、一組のマウスとキーボードで複数のPCを操作できます。広い画面の場合、2台のPCを画面に表示させ、両方のPCを操作できる利便性は高く、業務の効率化に大きく寄与します。

ドライブ暗号化と多言語対応

ドライブ暗号化機能である「Bit Locker」はVistaから搭載された機能で、ディスクを暗号化することで、盗難にあった場合に、内容を読み取られる恐れが少なくなります。Win7では、USBメモリーなども暗号化できるようになりました。

多言語対応機能は、言語パックにより35言語に対応可能ですが、普通の税理士事務所では考慮する必要性は低い機能です。

推薦するエディション

少しでも安い予算の場合、有益な機能がないことを理解したうえで、Homeになります。一般に発売されるPCもHomeになることが予想されますので、金額で判断するとHomeになることでしょう。

業務に利用する場合を想定すると、Ultiをお勧めします。Proとの金額差は小さいので、危機管理を考慮すると、ノートPCこそUltiが最適です。金額以上にその機能を理解し、有効的に利用することを考慮すると、Ultiが最適でしょう。

J-SaaSの現状と今後の展開(Ⅱ)

はじめに

J-SaaSについては、本年6月号の本紙でも紹介しましたが、今回は、新たにアプリケーションが追加されたことと税理士が使用する観点から関係者へ取材を行い新しい情報が得られましたので改めて報告致します。

2009年3月よりサービスを開始したJ-SaaS (ジェイ・サース) の現状については、そのポータルサイトへのアクセス状況を見ると、月間約30万アクセスに達しており、それなりの注目はされているようです。アプリケーションの拡充については、新たに、セキュリティ対策や社会保険手続、そして顧客商談管理などの業務を支援する7つの新サービスの提供を、7月24日より順次開始したとのこと。

(2009年8月時点 アプリケーション数合計 31。)

以下においては、J-SaaSの現状として新たに追加したアプリケーションの概要、普及活動の取組み、そして税理士向け機能活用についてふれ、最後に今後の展開としてJ-SaaSデータ連携(XBRL)の概要について、3回の連載でご紹介致します。

1. J-SaaS 新サービス追加

<J-SaaSに追加したサービス一覧>

カテゴリ	アプリケーション名	サービス提供企業名
セキュリティ対策	ISM (セキュリティ維持管理サービス)	クオリティ (株)
	ISM-RC (ISMリモートコントロール)	クオリティ (株)
プロジェクト管理	Project Collaboration for J-SaaS	アースインターシステムズ(株)
社会保険手続	SaaS de 社労夢 J	(株)エムケイシステム
顧客商談管理	まめセールス	(株)豆蔵
インターネットバンキング	みずほビジネスWEB for J-SaaS	(株)みずほ銀行
グループウェア	勤怠課長 lite J-SaaS	(株)アークインターナショナル

<サービスの概要>

●ISM (セキュリティ維持管理サービス)

経営のIT化と情報セキュリティ対策は表裏一体です。専任の情報システム管理者がいなくても、インターネット接続環境さえあれば、簡単・低コストでセキュリティの維持・管理ができるサービスです。

○ISM-RC (ISMリモートコントロール)

安全・安心ISMのセキュリティ維持管理サービスに加え、「PCのリモートコントロール」や「ソフトウェア配布」等の充実したIT資産管理機能を簡単操作にて利用できます。

●Project Collaboration for J-SaaS

業務プロセスの遂行をプロジェクトと捉え、会社・組織・チーム内におけるプロジェクト情報の共有化を図ります。更にノウハウや手順・段取りをテンプレート化し、生産性や品質の効率化を実現します。

●SaaS de 社労夢 J

社会保険・労働保険に関する手続き及び電子申請が簡単にできます。又、コース選択により、社会保険労務士事務所による確認・相談・代行が選択可能となります。

●まめセールス

限られた営業員での効率的な受注を目指し、商談情報、顧客情報、レポート機能を備え、商談プロセスを「見える化」することで、営業のみならず関係メンバーが一体となって顧客対応を考える、次世代営業システムです。

●みずほビジネスWEB for J-SaaS

会社のパソコンから、残高照会、入出金明細照会、振込・振替、総合振込などの銀行取引が可能。当日の急な振込(振込・振替)にも、多数の振込予約(総合振込)にも対応できます。

●勤怠課長 lite J-SaaS

正社員、パート、アルバイト、シフト勤務など雇用形態や勤務形態で異なる勤怠データ処理を社労士の要望で実現しました。タイムカードデータの取込→勤務管理表作成→給与ソフトへのデータ出力まで自動で処理します。

以上、新たにサービス追加したアプリケーションの概要ですが、今後も、中小企業の経営者の方々が抱える多様な課題に対応したアプリケーションを追加していく予定があるとのことで一層の内容の充実を期待したいところです。

参考「平成21年度中小企業向けSaaS活用基盤整備におけるアプリケーション開発事業に係る委託先の公募結果について」

下記URLをご参照ください。

<http://www.ssk21.co.jp/contents/saas/08.26appli.html>

2. J-SaaS普及活動の取組み

昨年度においては、J-SaaS普及指導員(約600名)を養成し、全国各地でJ-SaaS普及研修が開催されました。(2009年1月~3月で360回開催、延べ12,650名が受講。)

また今年度においては、研修受講者の方々がJ-SaaSを実体験していただける研修を計画しており、主な普及活動の内容は以下のとおりです。

平成21年度における主な普及活動内容

1. 普及研修の開催
 - ・操作指導員養成。(1,737名登録)
 - ・実機研修を全国で開催。
2. プレスリリース
3. 展示会出展
4. アフィリエイト

私たち税理士としてもJ-SaaSの今後の展開に注目していきましょう。次号では、J-SaaSにおける税理士向けの機能についてご紹介致します。

これで電子申告も怖くないっ!

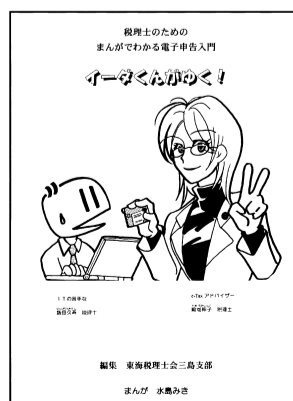
電子申告入門マンガを東京会ホームページに掲載

東海税理士会三島支部様のご厚意により、同支部編集の電子申告入門まんが「税理士のための まんがでわかる電子申告入門『イーダくんがゆく!』」を、東京税理士会ホームページに掲載いたしました。電子申告に新たに取り組む際の手引きとして、また支部研修会でのテキストとして等、広くご利用ください。

東京税理士会ホームページにアクセス

<http://www.tokyozeirishikai.or.jp/>

「税理士の方へ」→「税理士のためのIT活用講座」



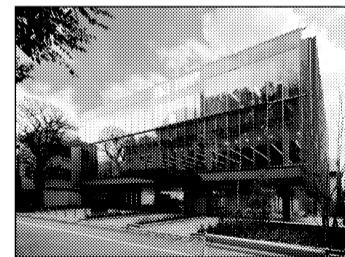
税理士情報フォーラム 2009 開催決定

テーマ「パソコンでする税理士業務」

開催日 平成21年12月11日(金)

場所 東京税理士会館 全館

税理士情報フォーラムの開催日程が決定いたしました。現在企画検討の真っ最中ですので、詳細は次号でお知らせいたします。ぜひご期待ください。



10月は日税連ICカード取得促進月間です!

まだ取得していない方は



「日税連電子認証局」に電話

03-5435-0940



「電子証明書の発行申請」と伝える。

